

## 何を使う

機器 スマートフォン、タブレット、PC のいずれか

ソフトウェア（アプリ）

Google Meet



## それをどう使う（それで何ができる）

- ・新しい単元の指導にあたり、双方向通信のサービス機能を利用することで、生徒の反応を確かめながら指導することができるとともに、質問にも応じることができる。

※選択授業（少人数）で実施したものであり、40 名一斉の授業は想定していない。

## ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 商業（原価計算）

## 【 Before 】

- テキストの解説を自分で読んで学習する。（独学）

【 After 】 **メリット**

- 作業の手順などが複雑な単元では、担当教諭による実際の指導を双方向で実施することにより、授業と同様の展開が可能となり、学習機会を保障することができる。
- 双方向授業により、生徒の質問にリアルタイムで対応することができ、内容の確実な理解につなげることができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習場面	一斉	個別	協働	
	○	○	○				○	○	
授業実施時に必要な環境→					インターネット接続	○	1人1台端末		○
活用が想定される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		商業（原価計算）		
			○		活用が想定される場面		問題演習		